

<富山市センサーネットワーク 操作マニュアル>

データ活用サイト/設定編

2025.02

もくじ

設定メニューとアクセス権(グループ権限)	1
設定メニュー	3
サイトとメニューの公開/非公開のちがい	5
サイト(システム)を公開/非公開する	6
メニューを公開/非公開する	7
メニューにレイヤを追加するには	8
グループがアクセス出来るメニューの設定	9
メニュー・レイヤの新規登録	10
メニュー・レイヤの削除	11
削除したメニュー・レイヤを復活させる	12
凡例ボタンを表示する	13
凡例用の画像ファイルを作りたい	14
レイヤの凡例を設定する	15
レイヤの展開・縮小表示を設定したい	16
車両の移動ルートの表示期間設定	17
マップ画面のズームレベル(初期値)設定	18
利用者の現在地を表示	19
アイテム(データ)を公開/非公開する	20
登録できるアイテム(データ)の種類	21
アイテムの新規登録	23
アイテムの削除	24
削除したアイテムを復活させる	25

アイテムの凡例を設定する	26
グラフの目盛りを変えたい	27
しきい値を変えたい(グラフ・アイコン)	28
しきい値の線の色などを変えたい	29
しきい値を超えたらアイコンの色を変えたい	30
GeoJSON アイテムの登録(定期/手動)	31
マーカーの色を条件で変えたい	34
GeoJSON アイテムのポップアップ表示	35
アイテムの dashboard 表示	36
アイテム(データ)の出典を明記したい	37
センサー設定を CSV で一括登録/変更する	38
画像リンク CSV 内の URL を変更したい	40
データのダウンロード設定	41
車両のセンサーを乗せ換えるには	42
定期取得(更新)ファイルを今すぐ取得	43
ファイルの定期取得(更新)状況の確認	44
Open Street Map を修正できますか	45
動画リンク(YouTube)を表示したい	46
場所選択機能を設定する	47
フッターに外部サイトリンクを設定する	49
イメージオーバーレイアイテムの登録	50
グラフに予測データを表示する	52

設定メニューとアクセス権(グループ権限)



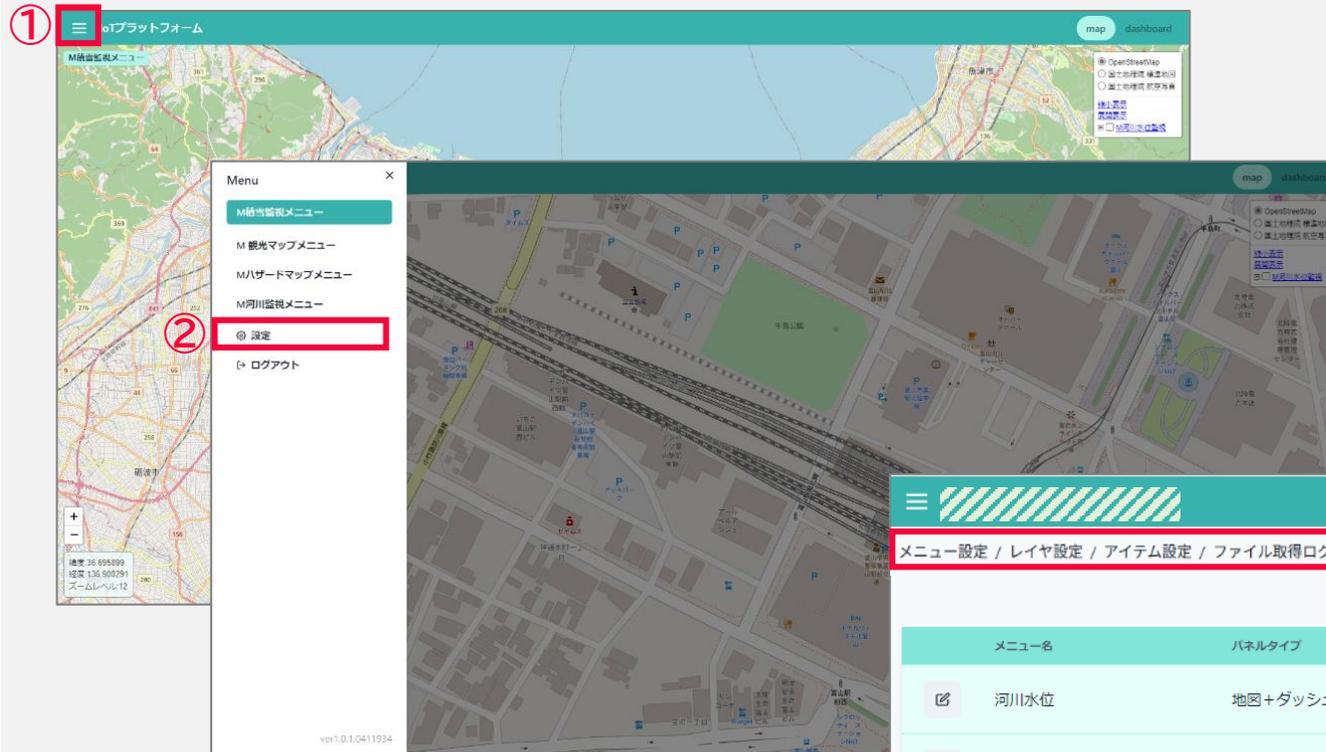
こちらの機能は
実証事業事業者者様に
ご利用いただけません



こちらの機能は
実証事業事業者者様に
ご利用いただけません

設定メニュー

①画面左上の三本線のマークをクリック。



②Menu の[設定]をクリック。



設定画面は
設定権限があるグループにのみ
表示されます。

③確認・変更したい設定をクリック。

→変更は次のページへ

メニュー設定 / レイヤ設定 / アイテム設定 / ファイル取得ログ / システム設定 / ユーザー管理 / グループ管理

③

メニュー名	パネルタイプ	並び順	有効/無効	一般公開	地図タイプ	中心座標
<input checked="" type="checkbox"/> 河川水位	地図+ダッシュボード	1	有効	公開	標準マップ	36.815 137.45
<input checked="" type="checkbox"/> 積雪監視	地図+ダッシュボード	2	有効	公開	標準マップ	36.815 137.45
<input checked="" type="checkbox"/> ごみ収集車	地図+ダッシュボード	3	有効	公開	標準マップ	36.815 137.45
<input checked="" type="checkbox"/> 霊気楼ライブカメラ	地図+ダッシュボード	5	無効	非公開	標準マップ	36.815 137.45
<input checked="" type="checkbox"/> 観光 (管理用)	地図+ダッシュボード	10	有効	非公開	標準マップ	36.815 137.45

背景	状態
薄緑	有効・公開
白	有効・非公開
グレー	無効・非公開

④変更したい設定の  (編集ボタン)をクリック。 **おわり**

システム設定



基本情報

システム名	一般公開	FAVICON	GOOGLE ANALYTICS 測定ID	ポリシーメニュー	備考	更新日	更新者	登録日	登録者

メニュー設定



↓ [削除トグルボタン]

削除メニューを表示 新規登録

削除したメニューを復活させたい時などは [削除トグルボタン] を ON(青色)にすると 削除したメニューなどが表示されます。

メニュー名	パネルタイプ	並び順	有効/無効	一般公開	地図タイプ	中心座標	メニュー開閉時 位置情報取得	位置 コード
観光	地図+ダッシュボード	-5	有効	非公開	標準マップ	36.7017 137.2132	無効	有効
防災	地図+ダッシュボード	-4	有効	非公開	標準マップ	36.7017 137.2132	無効	有効

12 参考
25 参考

レイヤ設定



削除レイヤを表示 新規登録

レイヤ名	アイコンラベル表示	並び順	凡例1	凡例2	凡例3	凡例4	凡例5	オーナーグループ テナントID	メニュー紐結許可	アイテム数	ID	備考
河川流路	非表示	-2						未設定 intec	0グループ	1	1722674122402	

アイテム設定



レイヤを選択 有効・無効を選択 公開・非公開を選択

削除アイテムを表示 新規登録

アイテム名	データタイプ	レイヤ	並び順	有効/無効	一般公開	アイコン	カラー	凡例	位置座標	データID(最終欄位)
避難所	GeoJSONファイル	避難所	0	有効	非公開		#3388ff			

サイトとメニューの公開/非公開のちがい



こちらの機能は
実証事業事業者者様に
ご利用いただけません

サイト(システム)を公開/非公開する



こちらの機能は
実証事業事業者様
にご利用いただけません

メニューを公開/非公開する



こちらの機能は
実証事業事業者者様に
ご利用いただけません

メニューにレイヤを追加するには



メニューにレイヤを追加するには、あらかじめレイヤのメニュー組込許可が必要です。
レイヤ組込許可とは、そのレイヤを組込む(追加)ことをグループに許可する設定です。
組込許可がある場合、下記は不要です。

① [☰] > [設定] > [レイヤ設定] > 追加したいレイヤの  (編集ボタン) をクリック。

3
参考

削除	テナントID	グループ名	権限
<input checked="" type="checkbox"/>		admins	<input checked="" type="checkbox"/> メニュー組込
<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/> メニュー組込

② [権限設定] > ([グループ権限] > [他のグループ]) の  (追加ボタン) をクリック。

③ [更新して閉じる] (または [更新]) をクリック。 **おわり**

グループがアクセス出来るメニューの設定

①[☰]>[設定]>[メニュー設定]>グループを設定したいメニュー  (編集ボタン)をクリック。 3

参考

メニュー設定

基本 地図 レイヤ **権限設定**

オーナーグループ 必須 2 テナントID 入力不可

グループ権限

選択中のグループ

削除	テナント ID	グループ名	権限
X			<input type="radio"/> フル編集 <input type="radio"/> アイテム編集 <input checked="" type="radio"/> 参照
X			<input type="radio"/> フル編集 <input type="radio"/> アイテム編集 <input checked="" type="radio"/> 参照
X			<input type="radio"/> フル編集 <input type="radio"/> アイテム編集 <input checked="" type="radio"/> 参照
X			<input type="radio"/> フル編集 <input type="radio"/> アイテム編集 <input checked="" type="radio"/> 参照

他のグループ

追加	テナント ID	グループ名
+		
+		
+		
+		
+		
+		
+		
+		
+		

3

更新 更新して閉じる 閉じる

②[権限設定](>[グループ権限])でグループを設定。

■ 追加するには
[他のグループ]の追加ボタン + をクリック。

■ 削除するには
[選択中のグループ]の削除ボタン X をクリック。

③[更新して閉じる](または[更新])をクリック。 おわり

メニュー・レイヤの新規登録

ここでは[レイヤ設定]を例にご説明しますが[メニュー設定]も同様です。

①[☰]>[設定]>[メニュー設定]または[レイヤ設定]>[新規登録]をクリック。³_{参考}

intec
intec : Tenant Admin

メニュー設定 / レイヤ設定 / アイテム設定 / ファイル取得ログ / システム設定 / ユーザー管理 / グループ管理 / テナント切替

削除レイヤを表示 **新規登録**

レイヤ名	アイコンラベル表示	並び順	凡例1	凡例2	凡例3	凡例4	凡例5	オーナーグループ テナントID	メニュー組込許可	アイテム数	ID	備考
河川水路	非表示	-2						未設定 intec	0 グループ	1	1722674122402	
イベント情報	非表示	-1						未設定 intec	0 グループ	1	1687768107653	
クマッぷ	非表示	-1						未設定 intec	0 グループ	3	1687512967374	
サイクリングコース	非表示	-1						未設定 intec	0 グループ			
サイクリングコース・カメラ	非表示	-1						未設定 intec	0 グループ			
ハザードマップ	非表示	-1						未設定 intec	0 グループ			
レンタサイクル	非表示	-1						未設定 intec	0 グループ			
事故データ	非表示	-1						未設定 intec	0 グループ			
交通情報	非表示	-1						未設定 intec	0 グループ			
公営駐車場	非表示	-1						未設定 intec	0 グループ			

レイヤ設定

基本 凡例 権限設定

レイヤ名 **必須**
河川水位

アイコンラベル表示
 非表示 表示

並び順
-1

備考

更新 **更新して閉じる** 閉じる

②必須項目をすべて入力し[登録して閉じる]([更新])をクリック。 **おわり**

メニュー・レイヤの削除



メニューやレイヤが増えすぎた場合などに、おすすめします。
“削除”すると、データベースには残ったまま、設定の一覧(さんこう→前ページ)には表示されなくなります。
削除したメニューやレイヤは、復活させることができます。(さんこう→次ページ)

ここではメニューの削除を例にご説明しますがレイヤの場合も同様です。

①[☰]>[設定]>[メニュー設定]>削除したいメニューの編集ボタンをクリック。

3
参考

②[削除]をクリック。

確認メッセージ(右図)が表示されますので赤い[削除]ボタンをクリックして下さい。

メニュー設定

基本 地図 レイヤ 権限設定

メニュー名 必須

観光

パネルタイプ

地図+ダッシュボード 地図のみ

並び順

-5

有効/無効

有効 無効

一般公開

公開 非公開

備考

削除 更新 更新して閉じる 閉じる

メニューの削除

観光 を削除しますか？
この操作は元に戻すことができます。

削除 キャンセル

削除確認メッセージ おわり

レイヤ管理

レイヤ	有効/無効	削除
観光	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
観光(削除済み)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
観光(非公開)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
観光(非公開)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
観光(非公開)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

削除 更新 更新して閉じる 閉じる

削除したレイヤを使用していたメニューでは
レイヤ名の前に【削除】と赤色で表示されるようになります。

削除したメニュー・レイヤを復活させる

ここではメニューの復活を例にご説明しますがレイヤの場合も同様です。

①[☰]>[設定]>[メニュー設定]>[削除メニューを表示]トグルボタンを ON(青色:選択)にする。(②図参照)

②復活させたいメニューの編集ボタンをクリック。

3
参考

メニュー名	パネルタイプ	並び順	有効/無効	一般公開	地図タイプ	中心座標	メニュー展開時 位置情報取得	位置情報 コントロール	位置情報取得範囲 (北,南,東,西)	ズームレベル (PC・対応)	ズームレベル (27~29)	ルート表示	レイヤ	
<input type="checkbox"/>	M小学校通学区	地図+ダッシュボード	8	無効	非公開	標準マップ	0 0	無効	無効	90 -90 180 -180	12	12	非表示	展開

③[復元]をクリック。

確認メッセージ(下右図)が表示されますので、[復元]ボタンをクリックして下さい。

メニュー設定

基本 地図 レイヤ 権限設定

メニュー名 必須

M小学校通学区

パネルタイプ

地図+ダッシュボード 地図のみ

並び順

8

有効/無効

有効 無効

一般公開

公開 非公開

備考

メニューの復元

M小学校通学区 を復元しますか？

復元確認メッセージ

おわり

凡例ボタンを表示する

①[☰]>[設定]>[メニュー設定]>設定したいメニューの  (編集ボタン)をクリック。

3
参考



メニュー設定

基本 **地図** レイヤ フッター 権限設定

② **基本設定** 位置情報取得 検索

地図タイプ
標準マップ

中心座標
緯度: 経度:

ズームレベル
PC・タブレット 14 スマートフォン 15

ルート表示コントロール 履歴表示期間(分) 非表示待機時間(分)
非表示 1440 1440

レイヤコントロール 座標表示コントロール ② **凡例表示コントロール**
 展開表示 縮小表示 有効 有効

削除 更新 **更新して閉じる** 閉じる

③

②[地図]>[基本設定]>[凡例表示コントロール]の[有効]を選択。

③[更新して閉じる](または[更新])をクリック。 **おわり**



マップに凡例ボタンが表示されます。
マップを閲覧しているユーザがこのボタンをクリックすると画面下部に凡例が表示されます。



凡例ボタン

凡例用の画像ファイルを作りたい

- 画像は凡例作成用のエクセルファイルで作成されるか、他の画像加工アプリケーションなどで作成されたファイルでも問題ありません。
- 使用する画像は PNG ファイルがおすすめです(表示がきれいです)が JPG ファイルなども凡例としてご使用いただけます。

レイヤの凡例を設定する

①[☰]>[設定]>[レイヤ設定]>設定したいレイヤの  (編集ボタン)>[凡例](>[凡例 1~5])をクリック。

3
参考

レイヤ設定

基本 **凡例** 権限設定

凡例1 凡例2 凡例3 凡例4 凡例5

② 凡例タイプ
 なし 画像ファイル 画像リンク

プレビュー
平常
氾濫注意
避難判断
氾濫危険

タイトル
河川水位
未入力の場合はレイヤ名が表示されます。

ファイル名

③ ファイルアップロード 元に戻す ダウンロード

リンクURL

③

更新 更新して閉じる 閉じる

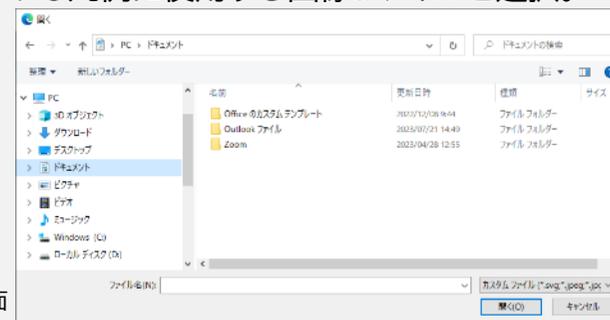
④

②凡例タイプを選択。

③使用する凡例を選択。

- ②で[画像ファイル]選択時
[ファイルアップロード]をクリックし凡例に使用する画像ファイルを選択。
- ②で[画像リンク]選択時
[リンク URL]を入力。

アップロードファイル選択画面



④[更新して閉じる](または[更新])をクリック。 **おわり**



map の凡例表示

レイヤの展開・縮小表示を設定したい



[メニュー設定]で設定します。

① [☰] > [設定] > [メニュー設定] > 表示を設定したいメニュー  (編集ボタン) をクリック。 3 参考

メニュー設定 ×

基本 2 **地図** レイヤ フッター 権限設定

基本設定 位置情報取得 検索

地図タイプ

標準マップ

中心座標

緯度: 経度:

ズームレベル

PC・タブレット 14 スマートフォン 15

ルート表示コントロール

履歴表示期間 (分) 非表示待機時間 (分)

非表示 2 1440 1440

レイヤコントロール 2 座標表示コントロール 凡例表示コントロール

展開表示 縮小表示 有効 有効 3

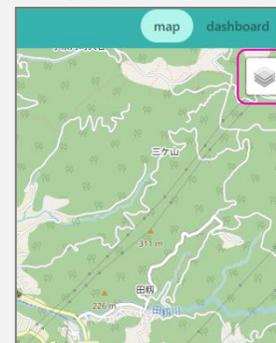
削除 更新 更新して閉じる 閉じる

② [地図] > [基本設定] > [レイヤコントロール] の [展開表示] または [縮小表示] を選択。

■ 展開表示 (map/dashboard)



■ 縮小表示 (map のみ)



③ [更新して閉じる] (または [更新]) をクリック。 おわり

車両の移動ルートを表示期間設定



トラッカー(GPS センサー)は、現在地だけでなく、現在地までの移動ルート(履歴)も表示できます。
一日に同一路線を繰り返し運行するオンデマンドバスなどのルートは、ルートの表示期間(時間)を設定しておく、車両の向かっている方向が分かりやすくなります。

- ① データ活用サイト[☰]>[設定]>[メニュー設定]>変更したいトラッカーを表示しているメニューの  (編集ボタン)をクリック。 3 参考

メニュー設定

基本 **地図** レイヤ フッター 権限設定

基本設定 位置情報取得 検索

地図タイプ
標準マップ

中心座標
緯度: 経度:

ズームレベル
PC・タブレット 14 スマートフォン 15

ルート表示コントロール 3 履歴表示期間(分) 非表示待機時間(分) 4

非表示

レイヤコントロール 座標表示コントロール 凡例表示コントロール

展開表示 縮小表示 有効 有効 5

削除 更新 **更新して閉じる** 閉じる

- ② [地図]>[基本設定]をクリック。

- ③ [ルート表示コントロール]の[非表示(時間指定)]を選択。

- ④ [履歴表示期間]と[非表示待機時間]を入力。



待機中のバスや、収集日以外のパッカー車など
移動していない車両(トラッカー)のアイコンを非表示にしたい場合は
[非表示待機時間]を設定して下さい。

- ⑤ [更新して閉じる](または[更新])をクリック。 おわり

マップ画面のズームレベル(初期値)設定



メニューごとに、パソコンまたはタブレット用(横幅 768px 以上を指します)と、スマホ用(横幅 768px 未満)、それぞれ別のレベルを設定出来ます。

①データ活用サイト[☰]>[設定]>[メニュー設定]>設定したいメニューの  (編集ボタン)をクリック。

3
参考

メニュー設定

基本 **地図** レイヤ フッター 権限設定

基本設定 位置情報取得 検索

地図タイプ
標準マップ

中心座標 ←[中心座標]位置情報が取得できない、設定範囲外の時などに使用
緯度:  経度: 

ズームレベル

PC・タブレット 14 スマートフォン 15

ルート表示コントロール 履歴表示期間(分) 非表示待機時間(分)

非表示 1440 1440

レイヤコントロール 座標表示コントロール 凡例表示コントロール

展開表示 縮小表示 有効 有効

削除 更新 **更新して閉じる** 閉じる

②[地図]>[基本設定]をクリック。

③[ズームレベル]の[PC・タブレット]と[スマートフォン]を入力。



ズームレベルに迷ったら…
マップで実際にズーム(マウスだとスクロールボタン)してみて
画面左下の“座標表示コントロール”に表示された
[ズームレベル]をチェックしてみましょう。
(座標表示コントロールは設定により非表示の場合があります。)

④[更新して閉じる](または[更新])をクリック。

おわり

利用者の現在地を表示

現在地表示の有無を、メニューごとに設定出来ます。
利用者はサイト利用時に位置情報取得を拒否することが出来ます。
利用者の位置情報が取得できない場合は、ポップアップでお知らせし、[中心座標]を現在地として表示します。

①データ活用サイト[☰]>[設定]>[メニュー設定]>設定したいメニューの  (編集ボタン)をクリック。

3
参考



メニュー設定

基本 ② 地図 レイヤ フッター 権限設定

基本設定 位置情報取得 検索

位置情報取得

有効(メニュー展開時) 有効(位置情報コントロール)

位置情報取得範囲

緯度: 北 南

経度: 東 西 ⑤

削除 更新 更新して閉じる 閉じる

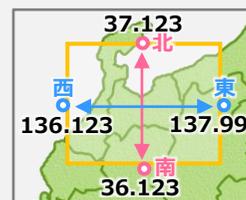
②[地図]>[位置情報取得]をクリック。

③各[位置情報取得]を選択。

[位置情報取得]	
[有効(メニュー展開時)]	利用者がマップ画面(メニュー選択時)を開いた時に現在地(●で表示)を中心に表示される
[有効(位置情報コントロール)]	マップ画面に「位置情報コントロール」が表示される

④[位置情報取得範囲]を緯度・経度で入力(左図参照)。

■左図での設定のイメージ



■取得した位置情報による表示のちがひ

現在地が[位置情報取得範囲]の内側	現在地(●で表示)を中心に表示
現在地が範囲外	[中心座標]を現在地(●で表示)として表示
位置情報が取得できない	[中心座標]を中心(●表示なし)に表示

⑤[更新して閉じる](または[更新])をクリック。 **おわり**

アイテム(データ)を公開/非公開する



[アイテム設定]でのアイテムごとの設定の他、
[メニュー設定]と[システム設定]での設定も必要です。



① [☰]>[設定]>[アイテム設定]の  (編集ボタン)をクリック。



アイテム設定 ×

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ リンク

基本情報 表示用名称 位置座標 データID 出典 権限設定

アイテム名 必須

データタイプ 必須

レイヤ 必須

並び順

有効/無効

○ 有効 ○ 無効

備考

更新 更新して閉じる 閉じる

② ([基本]>[基本情報])[一般公開]の
[公開](または[非公開])をクリック。

③ [更新して閉じる](または[更新])をクリック。 **おわり**

登録できるアイテム(データ)の種類

データの種類は[アイテム設定]にて選択します。

GPS 位置情報	GPSトラッカーなどのセンサー位置のルート表示
GPS 位置情報 CSV	(CSV ファイルを使用して複数のセンサーを一括登録/変更できます)
計測(予測)データ	センサー計測値、予測値のグラフ表示
計測(予測)データ CSV	(CSV ファイルを使用して複数のセンサーを一括登録/変更できます)
画像解析	人数や車両台数を画像から AI 解析し画像と解析結果のグラフ表示
カメラ画像	受信したカメラ画像
GeoJSON ファイル	即時アップロードまたは定期取得する GeoJSON 形式ファイル(または Shape、CSV)
地理空間エンティティ	データ連携基盤で受信した位置情報付きデータ
地理空間 API	API で位置情報付きデータを取得しマップに表示する 例:交通規制情報の API など

(次ページへつづく)

タイルレイヤ	タイルレイヤをマップに表示する 例:ハザードマップポータル ¹ の浸水想定区域
イメージオーバーレイ	画像を地図の上に重ねて表示する
画像・動画リンク	画像や動画の URL を登録して画像や動画を表示する 例:他機関のホームページなどの監視カメラ画像
画像リンク CSV	URL と地点名を一覧にした CSV データを登録して複数カ所のカメラ画像などを表示する
震源・震度情報	気象庁防災情報 XML から取得した地震の震源・震度情報 震源・震度情報の表示には別途セットアップが必要です。ご利用をご希望の場合は弊社までご相談下さい。

アイテムの新規登録



アイテムの新規登録にはアイテムを載せるレイヤが必要です。

① [☰] > [設定] > [アイテム設定] ([レイヤ設定][メニュー設定]) > [新規登録] をクリック。

3
参考

intec
intec : Tenant Admin

メニュー設定 / レイヤ設定 / アイテム設定 / ファイル取得ログ / システム設定

レイヤを選択 ▼ 有効・無効を選択 ▼ 公開・非公開を選択 ▼ 削除アイテムを表示 新規登録 ①

アイテム名	データタイプ	レイヤ	並び順	有効/無効	一般公開	アイコン	カラー	凡例	位置座標	データID(最終履歴)
<input checked="" type="checkbox"/> 避難所	GeoJSONファイル	避難所	0	有効	非公開		#3388ff			
<input checked="" type="checkbox"/> 水位観測	計測データCSV	水位	1	有効	非公開					
<input checked="" type="checkbox"/> 水位計	計測データCSV	水位	1	有効	非公開					
<input checked="" type="checkbox"/> 降水量	計測データCSV	降水量	0	有効	非公開					
<input checked="" type="checkbox"/> 最高気温	計測データCSV	気温	1	有効	非公開					
<input checked="" type="checkbox"/> 最低気温	計測データCSV	気温	2	有効	非公開					
<input checked="" type="checkbox"/> 最大風速	計測データCSV	風速	1	有効	非公開					
<input checked="" type="checkbox"/> 瞬間最大風速	計測データCSV	風速	2	有効	非公開					
<input checked="" type="checkbox"/> 河川流路	GeoJSONファイル	河川流路	0	有効	非公開		#3388ff			

② 必須項目をすべて入力し[登録して閉じる]([登録])をクリック。 **おわり**

アイテム設定

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ リンク

基本情報 表示用名称 位置座標 データID 権限設定

アイテム名 **必須**

データタイプ **必須**

レイヤ **必須**

並び順

有効/無効 一般公開

登録 登録して閉じる ② 閉じる

アイテムの削除



アイテムが増えすぎた場合などに、おすすめします。
“削除”すると、データベースには残ったまま、設定の一覧(さんこう→前ページ)には表示されなくなります。
削除したアイテムは、復活させることができます。(さんこう→次ページ)

①[☰]>[設定]>[アイテム設定]>削除したいアイテムの編集ボタンをクリック。

3
参考

②[削除]をクリック。

確認メッセージ(下右図)が表示されますので、赤い[削除]ボタンをクリックして下さい。

アイテム設定

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ リンク

基本情報 表示用名称 位置座標 データID 権限設定

アイテム名 必須
富山県2023年_人身事故_多発エリア

データタイプ 必須
GeoJSONファイル

レイヤ 必須
事故データ

並び順
0

有効/無効
 有効 無効

一般公開
 公開 非公開

備考
削除可

削除 更新 更新して閉じる 閉じる

アイテムの削除

富山県2023年_人身事故_多発エリア を削除しますか？
この操作は元に戻すことができます。

削除

キャンセル

削除確認メッセージ

おわり

削除したアイテムを復活させる

①[☰]>[設定]>[アイテム設定]>[削除アイテムを表示]トグルボタンを ON(青色:選択)にし、削除したアイテムを表示する。(②図参照)

②復活させたいアイテムの編集ボタンをクリック。

3
参考



③[復元]をクリック。

確認メッセージ(下右図)が表示されますので、[復元]ボタンをクリックして下さい。

アイテム設定

基本 | スタイル | 凡例 | データ | GeoJSON | タイルレイヤ | リンク

基本情報 | 表示用名称 | 位置座標 | データID | 出典 | 権限設定

アイテム名 必須
10分雨量

データタイプ 必須
計測データCSV

レイヤ 必須
防災

並び順
0

有効/無効 有効 無効 | 一般公開 公開 非公開

備考

③ 復元 | 更新 | 更新して閉じる | 閉じる

アイテムの復元

10分雨量 を復元しますか？

復元 | キャンセル

復元確認メッセージ

おわり

アイテムの凡例を設定する



しきい値で色が変わるアイコンが設定されている水位計などは、アイテムではなくレイヤでの凡例設定がおすすめです。

15

参考

① [☰] > [設定] > [アイテム設定] > 設定したいアイテムの [✎] (編集ボタン) > [凡例] をクリック。

3

参考

② 凡例タイプを選択し必要な項目を入力。

凡例タイプ:アイコン	画像ファイル	画像リンク
アイテムごとに異なるアイコンのものなど 例)ゴミ収集車	アイコンではなく線や面の図形表示など 例)河川流路	例)ハザードマップなど
		

③ [更新して閉じる] (または [更新]) をクリック。 **おわり**

グラフの目盛りを変えたい

①[☰]>[設定]>[アイテム設定]>変更したいアイテム(河川など)の (編集ボタン)をクリック。

3
参考

アイテム設定

基本 スタイル 凡例 **データ** GeoJSON タイルレイヤ リンク

グラフ しきい値 CSV出力

y 軸設定 必須

キー属性 waterLevel

タイトル 水位

単位 m

最小値 0

最大値 1.2

自動拡張 ←計測値が最大値を超えたとき
軸を自動的に拡張する

目盛り数 6

正常範囲 ~ [正常範囲]
[正常範囲]外の値(異常値)は
グラフ、CSV データから除外される

小数点以下桁数 自動設定

小数点以下桁数は測定値に小数点以下の値が含まれている場合に有効となります。

x 軸設定 必須

表示範囲 (過去) 3 時間

表示範囲 (未来) 0.5 時間

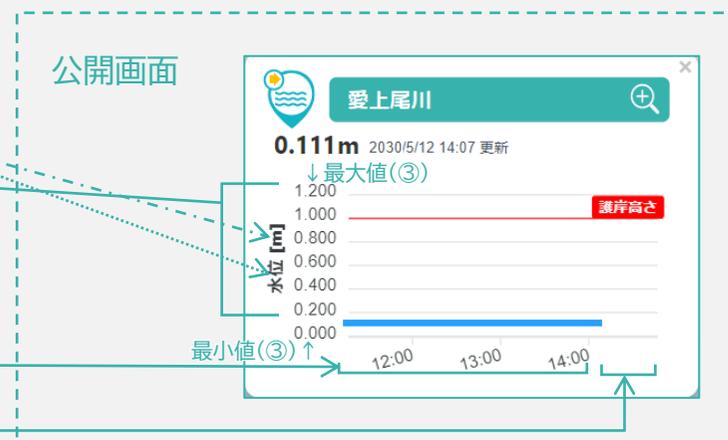
表示範囲 (過去): 現時刻以前のグラフの表示範囲
表示範囲 (未来): 現時刻以降のグラフの表示範囲

更新 更新して閉じる 閉じる

②[データ]をクリック。

③[グラフ]の[最小値][最大値][目盛り数]を変更。

④[更新して閉じる](または[更新])をクリック。 おわり



しきい値を変えたい(グラフ・アイコン)

①[☰]>[設定]>[アイテム設定]>変更したいアイテム(河川など)の  (編集ボタン)をクリック。 3 参考



アイテム設定

基本 スタイル 凡例 **データ** GeoJSON タイルレイヤ リンク

グラフ **しきい値** CSV出力

しきい値	アイコン設定	グラフ基準線	削除
デフォルトアイコン	<input type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> 上昇 <input type="radio"/> 下降	<input type="checkbox"/> 表示	
しきい値	条件を選択	線の色	
注意値	<input type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> 上昇 <input type="radio"/> 下降	<input checked="" type="checkbox"/> 表示 <input type="button" value="プレビュー"/>	<input type="button" value="×"/>
80	しきい値以上	orange	<input type="button" value="×"/>
警戒値	<input type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> 上昇 <input type="radio"/> 下降	<input checked="" type="checkbox"/> 表示 <input type="button" value="プレビュー"/>	<input type="button" value="×"/>
120	しきい値以上	red	<input type="button" value="×"/>

行追加

しきい値(基準値)の個数を増やす

更新 **更新して閉じる** 閉じる

②[データ]>[しきい値]をクリック。

③各基準値(半角数字・小数点可)を変更。
しきい値が未設定の(ひとつもない)場合は[行追加]ボタンをクリックすると入力できる。

④[更新して閉じる](または[更新])をクリック。 おわり

しきい値(基準値)を削除

しきい値の線の色などを変えたい

- ①[☰]>[設定]>[アイテム設定]>変更したいアイテム(河川など)の  (編集ボタン)をクリック。 3
参考
- ②[データ]>[しきい値]をクリック。
- ③変更する。
- ④[更新して閉じる](または[更新])をクリック。 おわり



アイテム設定

基本 スタイル 凡例 **データ** GeoJSON タイルレイヤ リンク

グラフ **しきい値** CSV出力

しきい値	アイコン設定	グラフ基準線	削除
デフォルトアイコン	<input type="checkbox"/> 標準 <input type="checkbox"/> 上昇 <input type="checkbox"/> 下降	<input type="checkbox"/> 表示	
しきい値	条件を選択	<input type="checkbox"/> 表示 プレビュー	<input type="checkbox"/>
注意値 80	しきい値以上	<input checked="" type="checkbox"/> 表示 プレビュー	<input type="checkbox"/>
警戒値 120	しきい値以上	<input checked="" type="checkbox"/> 表示 プレビュー	<input type="checkbox"/>

グラフ基準線の色が未入力の場合はデフォルトカラー(#c2c2c2)で表示されます。
複数の条件に一致する場合は最後のアイコン設定が適用されます。

行追加

更新 **更新して閉じる** 閉じる

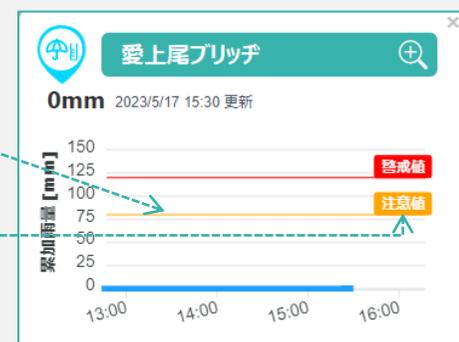
グラフに基準線を表示する。



線色は RGB、色名で設定できる。

 をクリックで RGB 設定画面へ

公開画面



しきい値を超えたらアイコンの色を変えたい



アイコンを最新の値により変更することが出来ます。

①[☰]>[設定]>[アイテム設定]>変更・確認したいアイテム(河川など)の  (編集ボタン)をクリック。 3
参考

アイテム設定

基本 スタイル 凡例 **データ** GeoJSON タイルレイヤ リンク

グラフ **しきい値** CSV出力

しきい値	アイコン設定	グラフ基準線	削除
デフォルトアイコン	  	表示	
しきい値	条件を選択	線の色	
注意値	   表示 プレビュー		
80	しきい値以上	orange	
警戒値	   表示 プレビュー		
120	しきい値以上	red	

グラフ基準線の色が未入力の場合はデフォルトカラー #c2c2c2 で表示されます。
複数の条件に一致する場合は最後のアイコン設定が適用されます。

行追加

更新 更新して閉じる 閉じる

- ②[データ]>[しきい値]
(または[スタイル]>[しきい値ごとのアイコン設定はこちら])を
クリック。
③各アイコンをクリックして変更。

デフォルトアイコンは[スタイル]でのアイコン設定に準じる。

-
- 各アイコン([標準]など)をクリックし
[システムアイコン]などを選択(クリック)。
 - [標準]を変更すると
[上昇][下降]にも反映される(変更可)。
 - [アップロード]クリックでファイル選択へ。

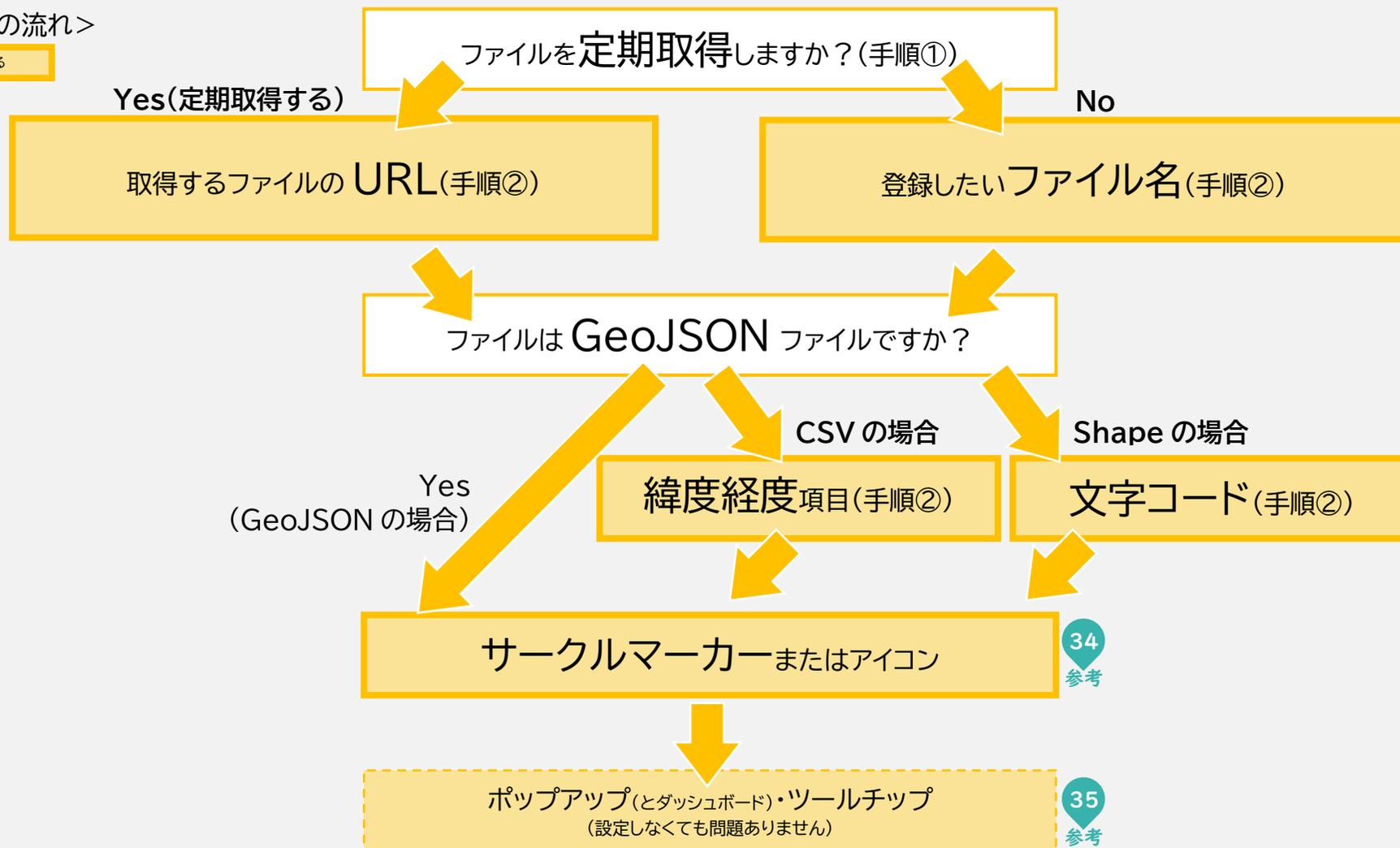
④[更新して閉じる](または[更新])をクリック。

おわり

GeoJSON アイテムの登録(定期/手動)

<登録作業の流れ>

設定する





アイテム設定

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ リンク

基本情報 表示用名称 位置座標 データID 権限設定

アイテム名

データタイプ

こちらでは[GeoJSON ファイル]の登録画面についてご説明します。
[データタイプ]は[GeoJSON ファイル]を選択しておいて下さい。

21 参考
23 参考

左図:[基本]>[基本設定]>[データタイプ]で[GeoJSON ファイル]を選択した例

アイテム設定

基本 スタイル 凡例 データ **GeoJSON** タイルレイヤ リンク

基本設定 ポップアップ ツールチップ フィルタ 条件付きスタイル

ファイル登録方法 手動アップロード 定期取得 **①**

ファイルの種類 GeoJSON Shapefile (zip圧縮)

① ([アイテム設定]>[GeoJSON]>[基本設定])の
[ファイル登録方法]でファイルの手動/定期取得、
[ファイルの種類]でファイルの種類を、それぞれ選択する。



[定期取得]を選択すると
ファイルが毎日 0 時に定期取得(更新)されます。
定期取得の状況は[ファイル取得ログ]メニューで確認できます。

44
参考

② ①で[手動アップロード]選択時は[ファイルアップロード]ボタンをクリックし、ファイルを選択する。
[定期取得]選択時は[定期取得 URL]にファイルの URL を入力する。

いずれも、Shape の場合は必要に応じ[Shapefile 文字コード]も選択する。
csv の場合は座標情報も選択する(→次ページ)。

基本 スタイル 凡例 データ **GeoJSON** タイルレイヤ リンク

基本設定 ポップアップ ツールチップ フィルタ 条件付きスタイル

ファイル登録方法 手動アップロード 定期取得

ファイルの種類 GeoJSON Shapefile (zip圧縮) CSV

ファイル名 必須

②

[手動アップロード]選択時

基本 スタイル 凡例 データ **GeoJSON** タイルレイヤ リンク

基本設定 ポップアップ ツールチップ フィルタ 条件付きスタイル

ファイル登録方法 手動アップロード 定期取得

ファイルの種類 GeoJSON Shapefile (zip圧縮) CSV

定期取得URL 必須

②

[定期取得]選択時



Shape ファイルを登録するには

拡張子が.shp のファイルだけでは登録できません。

下記のファイルをまとめて一つのファイルに圧縮した“zip ファイル”をアップロードして下さい。

<Shapefile の構成ファイル>

※必須ファイル

- ・.shp: 図形の情報を格納するファイル
- ・.dbf: 図形の属性情報を格納するテーブル

推奨されるファイル

- ・.prj: 図形の持つ座標系の定義情報を格納するファイル
(ファイルがない場合は位置座標の正確性を保証できません。)

任意のファイル

- ・.cpq: 文字コードに関する情報を格納するファイル
(ファイルがない場合はアイテム設定の設定値が適用されます。)
- ・.shx: 図形のインデックス情報を格納するファイル

ファイルがCSVの場合は、[座標プロパティ名]でCSVファイル中の緯度、経度の値が入っている各項目名を入力する。

基本 スタイル 凡例 データ **GeoJSON** タイルレイヤ リンク

基本設定 ポップアップ ツールチップ フィルタ 条件付きスタイル

ファイル登録方法 手動アップロード 定期取得

ファイルの種類 GeoJSON Shapefile (zip圧縮) CSV

ファイル名 必須

ファイルアップロード 元に戻す ダウンロード

座標プロパティ名 必須

緯度: 経度:

③ [更新して閉じる](または[更新])をクリック。 **おわり**

マーカーの色を条件で変えたい

①[☰]>[設定]>[アイテム設定]>変更したいアイテムの  (編集ボタン)をクリック。 3 参考

アイテム設定 ×

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ リンク

アイコン カラー

アイコンタイプ

画像 サークルマーカ ③

サークルマーカサイズ 10 px

アイコン画像 (条件付きスタイル設定は こちら) ④

システムアイコン

ファイルアップロード

システムアイコン  元に戻す 

更新 更新して閉じる

②[スタイル](>[アイコン])をクリック。
③[サークルマーカ]を選択。
④[条件つきスタイルはこちら]をクリック。
[GeoJSON]>[条件付きスタイル]でも設定画面を表示できます。

アイテム設定 ×

 重大事故は赤マーカ、以外は青マーカの設定例

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ リンク

基本設定 ポップアップ ツールチップ フィルタ 条件付きスタイル

条件	アイコン	線のスタイル	塗りつぶし	削除
デフォルトスタイル		#0055ff 太さ 2 不透明度 1	#0055ff 不透明度 0.5 <input checked="" type="checkbox"/> 有効	デフォルトスタイルも変更可
元ファイルのプロパティ名				
事故内容		#ff0000 太さ 2 不透明度 1	#ff0000 不透明度 0.5 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 ×	

条件式 この場合は「事故内容=重大事故」が赤マーカ

色が未入力の場合はデフォルトカラーで表示されます。 マーカ-の線 複数の条件に一致する場合は最後のスタイルが適用されます。

行追加

更新 更新して閉じる ⑥ 閉じる

⑤右図を参考に必要な項目を入力。

⑥[更新して閉じる]([または閉じる])をクリック。 おわり

GeoJSON アイテムのポップアップ表示

map 画面で表示できる GeoJSON アイテムのポップアップに、GeoJSON にある名称や説明などのテキスト、画像、リンクを表示できます。ポップアップと同じ内容をダッシュボードにも表示する場合は[基本情報]タブでの設定が必要です。(参考→次ページ)

①[☰]>[設定]>[アイテム設定]>変更したいアイテムの (編集ボタン)をクリック。 3
参考

②[GeoJSON]>[ポップアップ]をクリック。

③表示したい項目に応じて入力する。



画像を表示するには
GeoJSON に画像の URL を記載した項目(属性)を作成しておき
[プロパティ名]にその項目、[画像]を選択して下さい。

④[更新して閉じる](または[更新])をクリック。 おわり

ポップアップ例



項目が…	[ラベル]	[プロパティ名]	[リンク]	[画像]
テキスト 説明など			(選択しない)	(選択しない)
画像 外観写真など	項目名 ポップアップ内の ラベル表示にのみ使用 (未入力でも 問題ありません)	表示したい 項目 GeoJSON にある項目	(選択しない)	<input checked="" type="checkbox"/> (選択する) 複数の項目で選択した場合(上図) プロパティ左右の[←][→]で 項目順に表示できる(右図)
リンク 公式 HP など			<input checked="" type="checkbox"/> (選択する) 選択しないと ふつうの文字列として表示され クリックしてもリンク先へ飛ばません	(選択しない)

アイテムの dashboard 表示



点データ(map 表示で指定した地点にアイコンが表示されるデータ)のアイテムは、map 画面の「ポップアップ」と同じ内容を dashboard 画面に一覧で表示できます。(参考→前ページ)

データの種類		dashboard 画面での表示
点データ	map 画面で指定した地点にアイコンが表示されるデータ	○
線データ	地図上に線が描画されるもの(経路や河川など)	×
面データ	地図上の特定の範囲が色付けされるもの(○○区域など)	

アイテム設定

基本 スタイル 凡例 データ **GeoJSON** タイルレイヤ リンク

基本設定 ポップアップ ツールチップ フィルタ 条件付きスタイル

ファイル登録方法 手動アップロード 定期取得

ファイルの種類 GeoJSON Shapefile (zip圧縮) CSV

ファイル名 必須

ファイルアップロード 元に戻す ダウンロード

座標プロパティ名 必須

緯度: 経度:

緯度、経度項目を再設定する場合はCSVファイルを再度アップロードしてください。

名称プロパティ名

ダッシュボード表示 フォーカス強調表示

出典

名称

URL

更新 **更新して閉じる** 閉じる

ここでは GeoJSON アイテムの手動アップロード時の画面を例にご説明しますが、他の場合も同様です。

- ① ([アイテム設定] > [GeoJSON] > [基本設定])の [ダッシュボード表示] を選択する。
- ② [更新して閉じる] (または [更新]) をクリック。 **おわり**

アイテム(データ)の出典を明記したい

①[☰]>[設定]>[アイテム設定]の  (編集ボタン)をクリック。

3

参考

②([基本]>)[出典]>[出典]に名称とアドレスを入力。



下記データは出典の入力画面が異なります。

GeoJSON ファイル	([GeoJSON]>)[基本設定]>[出典]
地理空間エンティティ	([エンティティ]>)[基本設定]>[出典]
地理空間 API	([API]>)[基本設定]>[出典]
タイルレイヤ	[タイルレイヤ]>[出典]
イメージオーバーレイ	[オーバーレイ]>[出典]

③[更新して閉じる](または[更新])をクリック。 

センサー設定を CSV で一括登録/変更する



GPS センサーや水位計センサーの大量追加などにおすすめです。
ただし、CSV で一括登録/変更した場合は 1 つのアイテム内 (= 親アイテム 例:GPS センサ) に複数のセンサー (= 子アイテム 例:G01、G02、…) が存在することになります。
各センサーの名称はマップのレイヤーツリーに表示されず (ツリー表示は親アイテムまで)
また、ダッシュボードの検索パネルはアイテム名 (親アイテム) での検索です。

アイテム設定

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ リンク

基本情報 表示用名称 位置座標 データID 出典 権限設定

アイテム名

データタイプ

こちらでは[データ ID]の画面についてご説明します。
[データタイプ]は[GPS 位置情報 CSV]または[計測(予測)データ CSV]を選択しておいて下さい。

21 参考
23 参考

左図:[基本]>[基本設定]>[データタイプ]で[GPS 位置情報 CSV]を選択した例

① [☰]>[設定]>[アイテム設定]>変更したいアイテムの (編集ボタン) をクリック。

3 参考

② ([基本]>)[データ ID]>[ダウンロード]をクリックし、設定 CSV ファイルをダウンロードする。

③ ②でダウンロードしたファイルをエクセルなどで修正する。

この CSV 内の[名称]はダッシュボードの[アイテム名検索ボタン]で検索される[アイテム名]とは異なります。
ダッシュボードの[アイテム名検索ボタン]で検索されるのは[基本]>[基本設定]>[アイテム名]で設定したアイテム名です。

■ GPS 位置情報

名称	ダッシュボード/マップ内に表示される各ルート名
ID/開始/終了	ルートのエンティティ ID※と適用期間
線の色	マップに表示されるルートの線色

■ 計測(予測)データ

名称	ダッシュボード/マップ内に表示される各センサーや観測地の名称
緯度/経度	センサーの場所の座標
ID/開始/終了	センサーのエンティティ ID※と適用期間
しきい値	しきい値の名称などの変更は[アイテム設定]>[データ]>[しきい値]
最小値/最大値/目盛り数	グラフの各値
予測データ ID	水位計などの予測データ表示時のID

※エンティティ ID は FIWARE-APP から確認できます。

④ [ファイルアップロード]をクリックして修正したファイルを選択する。

⑤ [更新して閉じる](または[閉じる])をクリック。 **おわり**

画像リンク CSV 内の URL を変更したい

① [☰]>[設定]>[アイテム設定]>変更したいアイテム(道路カメラなど)の  (編集ボタン)をクリック。

③
参考



アイテム設定

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ **リンク**

ファイル名 必須

サイクリングコースのカメラ.csv

4 ファイルアップロード 元に戻す **2** ダウンロード

出典

更新 **5** 更新して閉じる 閉じる

② [リンク]>[ダウンロード]をクリックし、設定ファイルをダウンロードする。

③ ダウンロードしたファイル内の URL(アドレス)をエクセルで修正する。

④ [ファイルアップロード]をクリックし修正したファイルをアップロードする。

⑥ [更新して閉じる](または[閉じる])をクリック。 **おわり**

データのダウンロード設定



認証ユーザ/非認証ユーザに対する、ダッシュボードでのデータダウンロードの可否設定です。
アイテムの設定ファイルではありません。

38

参考

①[☰]>[設定]>[アイテム設定]>

データをダウンロードできるようにしたいアイテム(データ)の  (編集ボタン)をクリック。 3

3

参考

アイテム設定

基本 スタイル 凡例 **データ** GeoJSON タイルレイヤ リンク

グラフ しきい値 **CSV出力**

ダウンロード許可
 認証済ユーザ 未認証ユーザ

出力項目

CSVヘッダー名	属性名	削除
水位	waterLevel	

名称、日時、緯度、経度はデフォルトで出力されます。

②[データ]>[CSV出力]>[ダウンロード許可]の

ダウンロードを許可するユーザ[認証済ユーザ]または[未認証ユーザ](ID とパスワードがないユーザ=住民など)を選択。

③[更新して閉じる](または[更新])をクリック。 おわり

車両のセンサーを乗せ換えるには

こちらでは Sensing Unit の場合をご説明します。

①データ活用サイト[☰]>[設定]>[アイテム設定]>変更したいアイテム(車両)の  (編集ボタン)をクリック。

3
参考



アイテム設定

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ リンク

基本情報 表示用名称 位置座標 **データID** 出典 権限設定

必須

データID履歴 削除

2022/04/26 09:00 ~ 2023/03/31 17:23

2023/04/01 17:23 ~ yyyy/mm/dd --:--

履歴を追加する場合は、終了日を入力して行追加をクリックしてください。

行追加

更新 更新して閉じる 閉じる

②([基本]>)[データ ID]をクリック。

③今まで搭載していたセンサーの終了日を入力。

④[行追加]をクリック。

⑤新センサーの開始日を入力。

⑥新センサーのデータ ID を入力。

⑦[更新して閉じる](または[更新])をクリック。 **おわり**

下記の赤字(斜体)部分を新センサーのサービスIDに変更する。

urn:ngsi-ld:MultiObserved:eltres-**Sxxxxxxx**

“サービス ID”はセンサーに貼ってあるシールで確認できます。

定期取得(更新)ファイルを今すぐ取得

① [☰]>[設定]>[ファイル取得ログ]をクリック。

② [▶](取得処理実行ボタン)をクリック。 おわり

アイテム名	実行種別	処理開始日時	処理終了日時	状態	取得	変換	保存	エラーメッセージ
▶ 山腹崩壊危険地区	定期実行	2024/3/2 0:00:07	2024/3/2 0:00:09	成功	✓	✓	✓	
▶ 地すべり危険地区 (非指定地)	定期実行	2024/3/2 0:00:07	2024/3/2 0:00:07	成功	✓	✓	✓	

ファイルの定期取得(更新)状況の確認

① [☰]>[設定]>[ファイル取得ログ]をクリック。 おわり

アイテム名	実行種別	処理開始日時	処理終了日時	状態	取得	変換	保存	エラーメッセージ
ファイル取得処理の直近の処理日時と結果								
山腹崩壊危険地区	定期実行	2024/3/2 0:00:07	2024/3/2 0:00:09	成功	✓	✓	✓	
地すべり危険地区 (非指定地)	定期実行	2024/3/2 0:00:07	2024/3/2 0:00:07	成功	✓	✓	✓	



アイテムが正しく設定されていない時などに
ファイルが取得できずエラーになってしまうことがあります。
[状態]が[エラー]になっていたらアイテム設定をご確認いただき
原因がご不明な場合は弊社までお問い合わせください。

Open Street Map を修正できますか

Open Street Map は自由にみんなで編集できる地図です。

アカウント登録(無料)をするとご自身で修正でき、修正はすぐにデータ活用サイトに反映されます。

下記の OSM 編集入門に編集方法の記載がありますのでご覧下さい。

Open Street Map

<https://openstreetmap.jp/>

OSM 編集入門

<https://openstreetmap.jp/node/763>

動画リンク(YouTube)を表示したい

埋め込みコードは YouTube 画面で確認できます。

①YouTube 画面上を右クリックし表示されたメニューの[埋め込みコードをコピー]をクリック。



②表示されたテキストの下線の部分が埋め込みコードです。ご確認ください。

```
<iframe width="***" height="***" src="https://www.youtube.com/embed/aaaaaaaaaaaa" title="*** (カメラ名称など) ***" (以下略)></iframe>
```

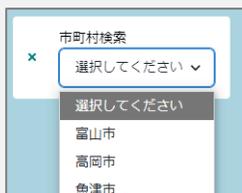
③[☰]>[設定]>[アイテム設定]>[新規登録](または変更したいアイテムの編集ボタン)>[基本]>[データタイプ]で[画像・動画リンク]を選択。



④[リンク]>[コンテンツ]>[動画リンク]を選択し[URL]に②で確認した埋め込みコードを入力。

⑤必要な項目を入力し[更新して閉じる](または[閉じる])をクリック。 おわり

場所選択機能を設定する



場所選択機能とは
マップでドロップダウンリストを使って、選択した場所へ移動する機能です。
ドロップダウンリストには市町村だけでなく
主要駅などの任意の移動先を表示することができます。

左図:場所選択機能ドロップダウンリストの表示例

①データ活用サイト[☰]>[設定]>[メニュー設定]>場所選択機能を設定したいメニューの  (編集ボタン)をクリック。

3
参考

メニュー設定

基本 **地図** レイヤ フッター 権限設定

基本設定 位置情報取得 **検索**

場所選択

有効 ラベル 市町村検索 **一括編集**

名称	緯度	経度	削除
岐阜市	35.42333	136.76083	✕
大垣市	35.36	136.61278	✕
高山市	36.14611	137.25222	✕
多治見市	35.33278	137.13222	✕
関市	35.49583	136.91778	✕
中津川市	35.4875	137.50056	✕
美濃市	35.54472	136.9075	✕

行追加

削除 更新 **更新して閉じる** 閉じる

②[地図]>[検索]をクリック。

③[場所選択]の[有効]を選択し
[ラベル](ドロップダウンリストのタイトル)を入力。

④ドロップダウンリストに表示する各選択肢の
[名称][緯度][経度]を入力。(くわしく→次ページ)

⑤[更新して閉じる](または[更新])をクリック。

おわり



【一括編集】ボタンについて

市町村の緯度経度一覧のエクセルファイルがある場合や、選択肢の並び順を変更したくなった場合などは、【一括編集】での入力が便利です。
【一括編集】の入力欄では、エクセルのセルをコピー＆ペーストして設定することもできます。

一括編集

「名称,緯度,経度」の形式で入力してください。

岐阜市,35.42333,136.76083
大垣市,35.36,136.61278
高山市,36.14611,137.25222
多治見市,35.33278,137.13222
関市,35.49583,136.91778
中津川市,35.4875,137.50056
美濃市,35.54472,136.9075
笠松町,35.36722,136.76333

コピー＆ペースト
または、入力して
【確定】をクリック

確定 キャンセル

一覧編集画面

メニュー設定

基本 地図 レイヤ フッター 権限設定

基本設定 位置情報取得 検索

場所選択

有効 ラベル 市町村検索

名称	緯度	経度	削除
岐阜市	35.42333	136.76083	<input type="checkbox"/>
大垣市	35.36	136.61278	<input type="checkbox"/>
高山市	36.14611	137.25222	<input type="checkbox"/>
多治見市	35.33278	137.13222	<input type="checkbox"/>

一覧編集の【確定】をクリックした後の例



<裏技> 分かりやすいドロップダウンリストを作りたい！

【名称】を入力、【緯度】【経度】を未入力にして、選択肢の見出し(カテゴリ分け)の様に表示することもできます(下図参照)。

メニュー設定

基本 地図 レイヤ フッター 権限設定

基本設定 位置情報取得 検索

場所選択

有効 ラベル 市町村検索

名称	緯度	経度	削除
—東部—			<input type="checkbox"/>
高山市	36.69583	137.21361	<input type="checkbox"/>
魚津市	36.8275	137.40917	<input type="checkbox"/>
津川市	36.76111	137.25222	<input type="checkbox"/>

設定画面



マップでの表示

フッターに外部サイトリンクを設定する

①データ活用サイト[☰]>[設定]>[メニュー設定]>外部サイトリンクを設定したいメニューの  (編集ボタン)をクリック。

3
参考



メニュー設定

基本 地図 レイヤ **フッター** 権限設定

フッター

有効

リンク先

NO	名称	URL
1	操作マニュアル	https://www.
2	アンケートフォーム	https://www.
3	県ホームページ	https://www.
4	オープンデータカタログサイト	https://opendata.
5	県域統合型GIS	https://gis-Portal

削除 更新 **更新して閉じる** 閉じる

②[フッター]をクリック。

③[フッター]の[有効]を選択。

④設定したい外部リンク先の[名称]と[URL]を入力。



URL が未入力の場合、フッターには名称も表示されません。

⑤[更新して閉じる](または[更新])をクリック。 **おわり**

アイテム設定

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ **オーバーレイ** リンク

画像ファイル名
岐阜県全域幅30000pixアルファ付き_縮小5000px.png

ファイルアップロード 元に戻す ダウンロード

描画領域

北西 (左上): 緯度 36.520024349 経度 135.890573614 ③

南東 (右下): 緯度 35.065554049 経度 137.92398039 ④

不透明度 (0:透明 ~ 1:不透明)

0.8

出典

名称

URL

削除 更新 **更新して閉じる** 閉じる ⑤

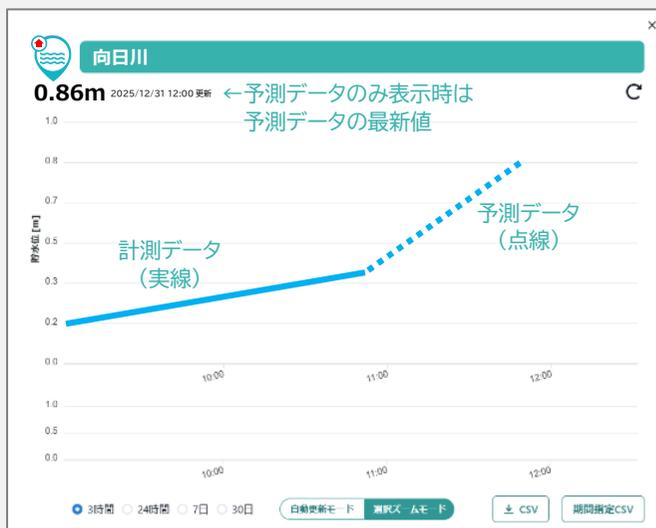
③ [描画領域]の[緯度][経度]を入力。



④ 必要に応じ[不透明度]や[出典]を入力。

⑤ [更新して閉じる](または[更新])をクリック。 **おわり**

グラフに予測データを表示する



水位計などのグラフには、

①計測データのみ ②予測データのみ ③計測と予測の両方のデータを、表示することができます。

尚、両方のデータを表示している時は、計測データの最新時刻よりも古い予測時刻のデータは表示されません。

計測と予測を両方表示したイメージ

しきい値によるアイコンの変化

計測データのみ	○
予測データのみ	○
計測と予測の両方	×

(次ページへつづく)

アイテム設定

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ オーバーレイ リンク

基本情報 表示用名称 位置座標 データID 出典 権限設定

アイテム名

観測データ

データタイプ

こちらでは[データ]>[予測]の登録画面についてご説明します。
 [データタイプ]は[計測(予測)データ](または[計測(予測)データ CSV])を選択し
 必要な項目を入力しておいて下さい。



左図:[基本]>[基本設定]>[データタイプ]で[計測(予測)データ]を選択した例

アイテム設定

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ オーバーレイ リンク

グラフ しきい値 CSV出力 予測

y 軸設定

キー属性

タイトル

単位

最小値

最大値

自動拡張

目盛り数

正常範囲 ~

小数点以下桁数 自動設定

小数点以下桁数は測定値に小数点以下の値が含まれている場合に有効となります。

x 軸設定 **必須**

表示範囲 (過去) 時間

表示範囲 (未来) 時間

削除

①[データ](>[グラフ])をクリック。

②[x 軸設定]を入力。(くわしく→27 ページ)

(次ページへつづく)

アイテム設定

基本 スタイル 凡例 データ GeoJSON タイルレイヤ オーバーレイ リンク

グラフ しきい値 CSV出力 予測 ③

予測データのみ 予測データID

有効 ④ デバイスのエンティティIDや参照データ固有のIDを入力 ⑤

予測項目設定

予測時刻 (何分後)	値項目	削除
60	waterLevel1	
[予測時刻] 何分後の予測値かを 「分」で入力する	[値項目] 予測データの項目名	⊗
120	waterLevel2	⊗
180	waterLevel3	⊗
240	waterLevel4	⊗
300	waterLevel5	⊗
360	waterLevel6	⊗

行追加 ⑥

削除 登録 登録して閉じる 閉じる

③([データ]>)[予測]をクリック。

④グラフに予測データのみを表示する場合は[予測データのみ]を選択。

⑤[予測データ ID]を入力。

この項目は[計測データ(予想)CSV]の時は表示されません。
その場合は、CSV 内に[予測データ ID]項目を作成して登録して下さい。
また、④で[予測データのみ]を選択している場合は自動設定されます。

⑥[行追加]をクリックして入力行を追加し
[予測項目設定]を入力。

⑦[登録して閉じる](または[登録])をクリック。 **おわり**